

## 肝炎ウイルス検診精度管理項目仕様書

## 1 肝炎ウイルス検診の実施

肝炎ウイルス検診の項目は問診、B型肝炎ウイルス検査及びC型肝炎ウイルス検査とする。

## (1) 問診（別紙2-1参照）

問診においては、過去に肝機能異常を指摘されたことがあるか否か、現在B型及びC型肝炎の治療を受けているか否かなどについて、聴取すること。また、その際に、肝炎ウイルス検診についての説明を行い、肝炎ウイルス検診の実施についての受診者本人の同意を必ず得ること。

## (2) B型肝炎ウイルス検査

## ・ HBs抗原検査

凝集法等による定性的な判断のできる検査方法を用いること。なお、特定健診等と同時に採血する場合は、一般生化学検査と同じ採血管を使用しても差し支えないこと。

## (3) C型肝炎ウイルス検査

## ア HCV抗体検査

HCV抗体検査として体外診断用医薬品の承認を受けた測定範囲が広く、高力価群、中力価群、低力価群に適切に分類することが出来るHCV抗体測定系を用いること。なお、特定健診等と同時に採血する場合は、一般生化学検査と同じ採血管を使用しても差し支えないこと。

## イ HCV核酸増幅検査

HCV抗体検査により、中力価及び低力価と分類された検体に対して行うこと。なお、この場合、他の採血管とは別に核酸増幅検査用の採血管を使用すること。

## ウ HCV抗体の検出

HCV抗体の検出として体外診断用医薬品の承認を受けた定性的な判断のできる検査方法を用いること。なお、特定健診等と同時に採血する場合は、一般生化学検査と同じ採血管を使用しても差し支えないこと。本検査は省略することができる。

## 2 肝炎ウイルス検診の結果の判定（別紙2-2参照）

## (1) B型肝炎ウイルス検査

## ・ HBs抗原検査

凝集法等を用いて、HBs抗原の検出を行い、陽性または陰性の別を判定。

ただし、HBs抗原検査は、B型肝炎ウイルスの感染の有無を直接判定することが難しい場合があることに留意すること。

## (2) C型肝炎ウイルス検査

## ア HCV抗体検査

(ア) HCV抗体高力価

検査結果が高力価を示す場合は、「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定。

(イ) HCV抗体中力価及び低力価

検査結果が中力価及び低力価を示す場合は、HCV核酸増幅検査を行うこと。

(ウ) 陰性

各検査法でスクリーニングレベル以下を示す場合は、「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定。

イ HCV核酸増幅検査

HCV抗体検査により、中力価及び低力価とされた検体に対して、核酸増幅検査を行い、HCV-RNAの検出を行い、検出された場合は「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定、検出されない場合は「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定。

ウ HCV抗体の検出

HCV抗体の検出として体外診断用医薬品の承認を受けた定性的な判断のできる検査方法を用いて、HCV抗体の検出を行い、陽性又は陰性の別を判定。陽性を示す場合は、HCV抗体検査を必ず行うこと。陰性を示す場合は、「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定。

なお、いずれの検査についても、その結果の判定に当たっては、検診に携わる医師が行うものであること。

### 3 指導区分

HBs抗原検査において「陽性」と判定された者及びC型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者については、医療機関への受診を勧奨する。

HBs抗原検査において「陰性」と判定された者及びC型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定された者については、検査結果と検査日を記録しておくことを勧奨する。

### 4 結果の通知

検診の結果については、別紙2を参考として指導区分を付し、受診者に速やかに通知する。

### 5 記録の整備（別紙2-3参照）

検診の記録は、氏名、年齢、住所、検診の結果の判定について行なう。

また、必要に応じ、事後の指導その他の必要な事項についても記録する。

### 6 その他の留意事項

判定結果の通知にあたっては、個人のプライバシーの保護に十分な注意を払うこと。

(別紙 2-1)

## 問診項目

①今までに、B型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか。

はい ※ いいえ(④へ)

※「はい」の場合は費用助成の対象外となります。

②現在または過去に、B型・C型肝炎ウイルス性肝炎の治療を受けていますか。

はい( 歳頃)※ いいえ 分からない

※「はい」の場合は、再度肝炎ウイルス検診を受診する必要はありません。 → ③へ  
現在の治療や定期検査を継続してください。

③ウイルス検査や治療を受けた後に、大きな手術・輸血をうけましたか、あるいは、入れ墨(タトゥー)を入れた、医療機関以外でピアスを開ける等がありましたか。

はい(④へ) いいえ※

※「いいえ」の場合は、再度肝炎ウイルス検診を受診する必要はありません。

④今日の健診で、肝炎ウイルス検査を受けますか。

はい いいえ

⑤肝臓病にかかったことや肝機能が悪いと言われたことがありますか。

はい( 歳頃) いいえ

⑥広範な外科的処置(輸血を伴うような大きな手術など)を受けたことがありますか。

はい( 歳頃) いいえ

「はい」と答えた方にかがいます。

定期的に肝機能検査を受けていますか。 はい いいえ

⑦(女性のみ)妊娠・分娩時に多量に出血したことがありますか。

はい( 歳頃) いいえ

「はい」と答えた方にかがいます。

定期的に肝機能検査を受けていますか。 はい いいえ

⑧肝炎ウイルス検診の目的等について理解した上で、肝炎ウイルス検診を希望しますか。

・HBs抗原検査について

希望する 希望しない 氏名 \_\_\_\_\_ (自署してください)

・C型肝炎ウイルス検査について

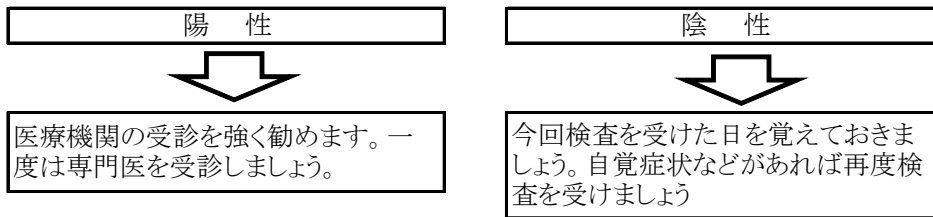
希望する 希望しない 氏名 \_\_\_\_\_ (自署してください)

生年月日 昭和 年 月 日

受診医療機関名: \_\_\_\_\_ 受診日: 令和 年 月 日

(別紙 2-2)

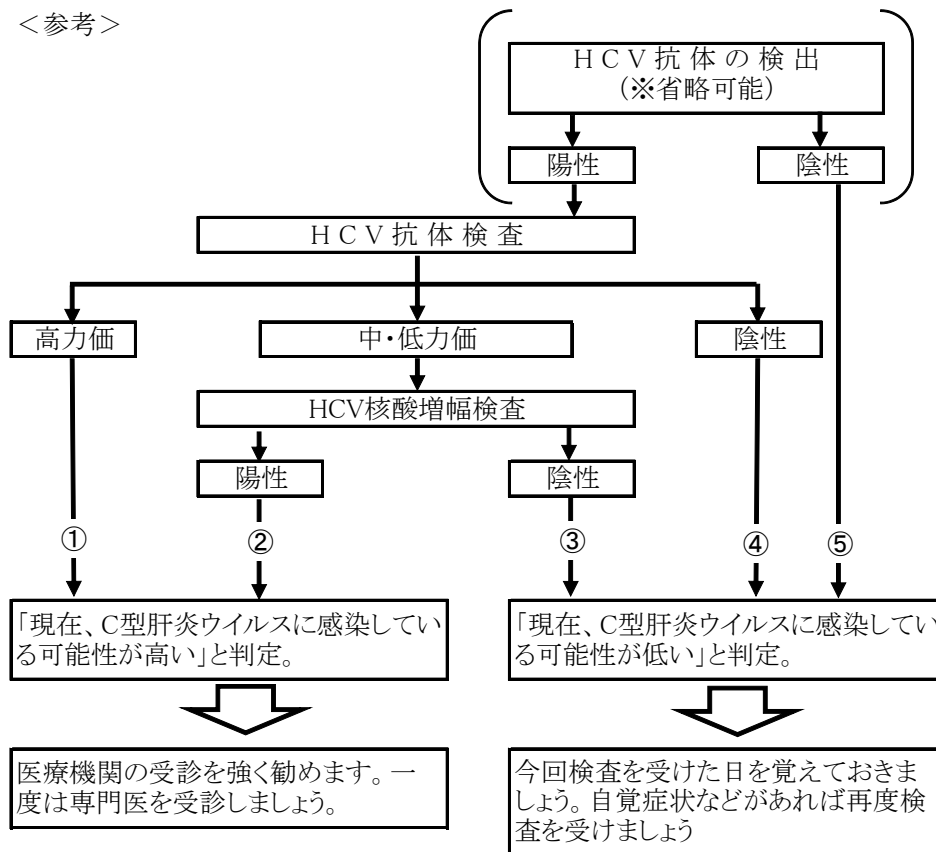
判定結果 (HBs抗原検査)



判定結果 (C型肝炎ウイルス検査)

1. 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定されました。  
判定理由 ① ②
2. 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定されました。  
判定理由 ③ ④ ⑤

<参考>



<注意事項>

HBs抗原検査が陰性となった場合にも、身体のだるさ等の症状や肝機能異常を指摘された場合などには、必ず医師に相談してください。

また、日常生活の場では、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染することはほとんどないことがわかっています。したがって、毎年くり返してC型肝炎ウイルス検査を受けなくても、現在のところ、上図に示す手順を踏んだ検査を1回受ければよいとされています。

なお、2. 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定された場合でも、C型肝炎ウイルス(HCV)以外の原因による肝炎になる可能性があること、検査後新たにC型肝炎ウイルス(HCV)に感染する場合(きわめてまれとされています。)があること、検査による判定には限界があることなどもありますので、身体のだるさ等の症状や肝機能異常を指摘された場合などには、必ず医師に相談してください。

(別紙2-3)

受診年月日		年 月 日
HBs抗原検査		陽 性
		陰 性
C型肝炎ウイルス検査	判定結果	1. 現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い 2. 現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い
	判定理由	(①~④のいずれかを記入)
実施機関名		